

平成18年度  
E A S機器の市場規模に関する調査  
報告書

平成19年9月

日本E A S機器協議会

社団法人日本リサーチ総合研究所

## 目 次

第1章 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の方法 .....	1
3. 回収結果 .....	2
4. 本報告書をみるにあたって .....	3
第2章 調査結果 .....	4
1. EAS機器の設置台数 .....	4
2. EAS機器の設置台数（店舗別設置台数とその割合） .....	5
(1) 店舗別設置台数 .....	5
(2) 店舗別割合 .....	8
3. EAS機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合） .....	9
4. EAS機器の設置台数（動作方式別設置台数とその割合） .....	10
(1) 動作方式別設置台数 .....	10
(2) 動作方式別割合 .....	11
5. EASタグの出荷数量 .....	12
6. EASタグの出荷数量（種類別出荷数量とその割合） .....	13
(1) 種類別出荷数量 .....	13
(2) 種類別割合 .....	14
7. EAS機器の出荷金額 .....	15
[資料] .....	16
参考図1 EAS機器の設置台数（全体・店舗別） .....	17
参考図2 EAS機器の設置台数（全体・動作方式別） .....	17
参考図3 EASタグの設出荷数量（全体・種類別） .....	18
調査票 .....	19

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、EAS（Electronic Article Surveillance：電子商品監視）機器の市場規模を把握し、今後のEASシステム・機器の普及促進のための基礎資料に資することを目的とする。

### 2. 調査の方法

日本EAS機器協議会の会員企業（23社）、及びEAS機器を製造・販売している非会員企業（3社）、あわせて26社に対して、アンケート調査（「平成18年度EAS機器の市場規模に関するアンケート」）を実施した。

アンケート調査の概要及び調査項目は、下表で示したとおりである。

#### <アンケート調査の概要>

○調査対象	日本EAS機器協議会の会員企業（23社） EAS機器を製造・販売している非会員企業（3社）
○調査対象数	上記の26社
○調査方法	郵送調査
○調査期間	平成19年7月19日～8月29日

#### <設問項目>

- 問1 EAS機器の設置台数
- 問2 (1) EAS機器の設置台数（店舗別割合）  
(2) EAS機器の設置台数（ステッカー貼付台数の割合）
- 問3 EAS機器の設置台数（動作方式別割合）
- 問4 (1) EASタグの出荷数量  
(2) EASタグの出荷数量（種類別割合）
- 問5 EAS機器の出荷金額
- 問6 日本EAS機器協議会に対する要望・意見

（※詳細については巻末資料の「調査票」をご参照ください。）

### 3. 回収結果

回答企業数：21社      回収率：80.8%

#### <回答状況>

NO	企業名	回答の有無
1	松尾産業株式会社	○
2	住友スリーエム株式会社	○
3	シグマ株式会社	○
4	株式会社チェックポイントシステムジャパン	○
5	株式会社エスキューブ	○
6	アイデックコントロールズ株式会社	○
7	株式会社ジーネット	○
8	株式会社三宅	○
9	株式会社テクノ・エンジニアリング	—
10	西武産業株式会社	○
11	株式会社サンモニター	○
12	リンテック株式会社	—
13	ユニパルス株式会社	○
14	ユニチカ株式会社	○
15	ACTUNI 株式会社	○
16	エム・ケー・パビック株式会社	○
17	株式会社コージン	—
18	株式会社トスカ	○
19	チェスコムアドバンス株式会社	○
20	ネットセキュリティー有限会社	—
21	グンゼ株式会社	○
22	タカヤ株式会社	○
23	高千穂交易株式会社	○
24	保安電子株式会社	—
25	株式会社ジャストコーポレーション	○
26	スキャンマチック販売株式会社	○

## 4. 本報告書をみるにあたって

### (1) 各年度の数字

本報告書では、時系列の推移をみるために、2006年度だけでなく、2005年度と2004年度の数字もあわせて掲載している。ただし、2005年度と2004年度の数字は、本年度回答があった企業の昨年度調査の数字を再集計したものとなっている。

### (2) 本報告書におけるEAS機器の設置台数

本報告書におけるEAS機器の設置台数は、メーカーまたは(海外製品の)マスターディスプレイビューターのエンドユーザーへの設置台数としている。

また、天井式、マット式、ゲート式とも、ゲート(アンテナ)1機につき1台とカウントしている。(例えばゲート式の場合は、設置箇所(出入り口)が1箇所でもゲートが2本の場合は2台、3本の場合は3台、4本の場合は4台とカウントする。)

### (3) 本報告書における各数値

本報告書における各数値は、年度をベースとした決算期における数字である。そのため、各社で、会計年度の始期及び終期が異なる場合があるので、必ずしも同時期における数値の集計ではない。(例えば3月決算の会社は2006年4月～2007年3月の数字、12月決算の会社は2006年1月～12月の数字となっている。)

また、設問によっては、「該当なし」や「資料なし」などの理由で無回答の場合があり、その分は集計に含まれていない。なお、あくまで各数値は各社からの数字をそのまま集計したものである。

### (4) EAS機器の設置台数(ステッカー貼付台数とその割合)の公開について

本報告書の「3. EAS機器の設置台数(ステッカー貼付台数とその割合)」は、当初会員外(ステッカー貼付しない)の数字を分母に含むため参考データ扱いの予定であったが、ステッカー貼付の重要性の高まりもあり今回公開することとした。

### (5) アンケート調査における図表の見方

本報告書では、アンケート結果を図表で示しているが、作図・表の都合上、設問や解答の選択肢を省略している場合があるので、巻末の「調査票」をご参照ください。

## 第2章 調査結果

### 1. E A S 機器の設置台数

(図表 1 参照)

#### <2006 年度の状況>

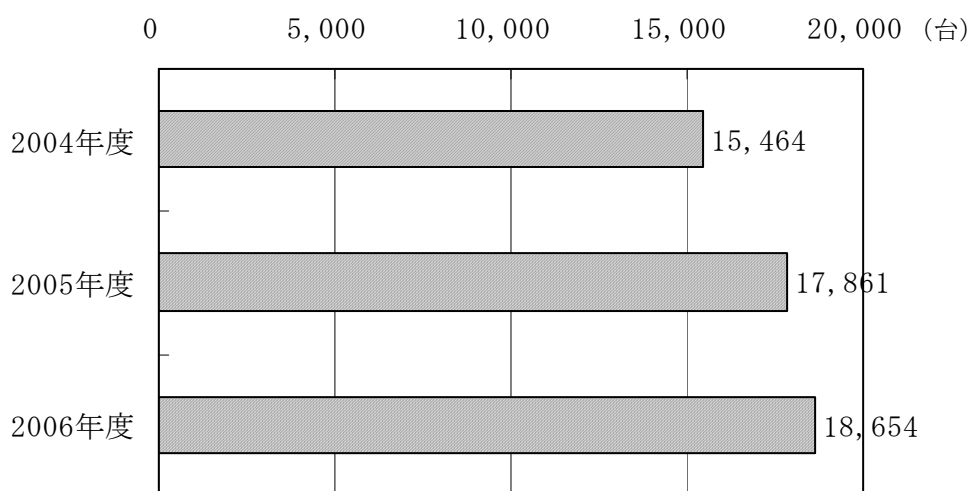
○ E A S 機器の設置台数は、2006 年度で 18,654 台である。

#### <2004 年度からの推移>

○ 設置台数は、年々、着実に増加している。2005 年度は前年と比べて 2,397 台の増加、2006 年度は 793 台の増加となっている。

○ 伸び率でみると、2005 年度は 15.5%、2006 年度は 4.4%の増加である。

図表 1 E A S 機器の設置台数



#### <設置台数及び伸び率>

	2004 年度	2005 年度	2006 年度
設置台数 (台)	15,464	17,861	18,654
伸び率※ (%)	-	15.5	4.4

※伸び率 = (当年度設置台数 ÷ 前年度設置台数 - 1) × 100

## 2. E A S 機器の設置台数（店舗別設置台数とその割合）

### （1）店舗別設置台数

（図表 2 参照）

#### <2006 年度の状況>

- 店舗別に設置状況をみると、「AV・メディアソフト店」（3,249 台）と「ドラッグストア」（3,222 台）の設置が多く、以下、「衣料品、ブランドショップ」（2,733 台）、「家電量販店」（2,356 台）、「ホームセンター」（1,601 台）などが続いている。

〔ただし、「AV・メディアソフト店」に「書店」を含めて回答した企業がある点にご留意ください。〕

#### <2004 年度からの推移>

- 「AV・メディアソフト店」、「家電量販店」は、着実に増加している。
- 「ドラッグストア」は 2005 年度に大きく減少したものの、2006 年度は増加に転じている。
- 「まんが喫茶、ネットカフェ」、「図書館、資料室」は増加傾向にある。

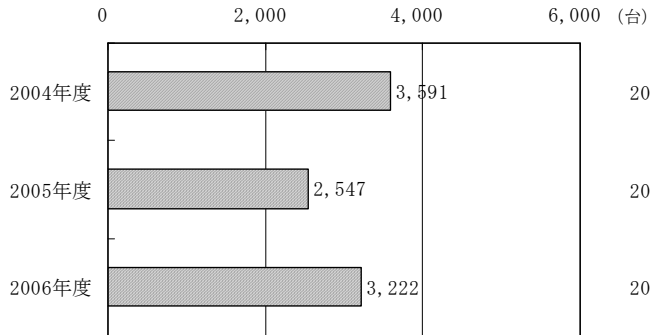
注：本年度調査で用いた店舗の分類は下記のとおりである。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| ①ドラッグストア          | ⑦まんが喫茶、ネットカフェ   |
| ②ホームセンター          | ⑧カー用品店          |
| ③衣料品、ブランドショップ     | ⑨図書館、資料室        |
| ④スポーツ用品店          | ⑩総合スーパー         |
| ⑤AV・メディアソフト店      | ⑪書店             |
| ⑥家電量販店            | ⑫その他（※）         |
| （カメラ・パソコンショップを含む） | （コンビニ、酒屋、宝飾店など） |

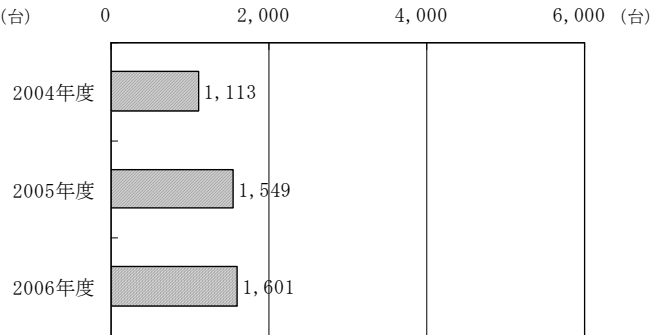
〔※2004 年度、2005 年度においては、「⑫その他」の中に「⑩総合スーパー」と「⑪書店」が含まれる。〕

図表2 EAS機器の設置台数（店舗別設置台数）

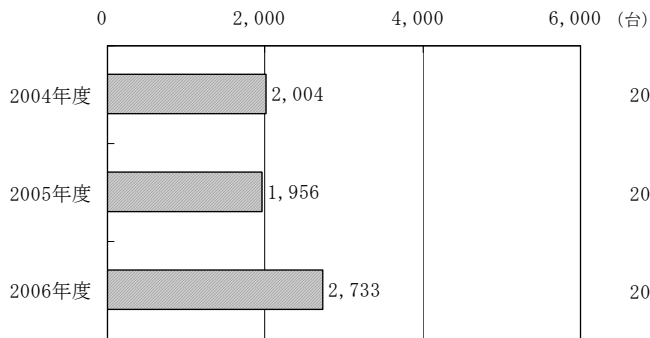
①ドラッグストア



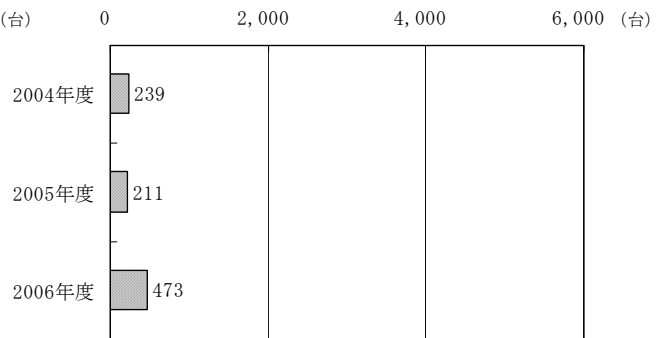
②ホームセンター※1



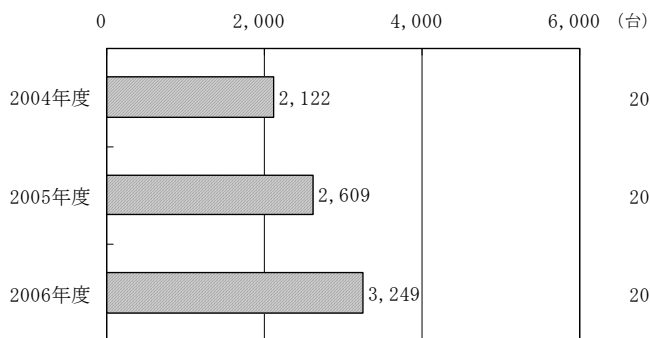
③衣料品、ブランドショップ



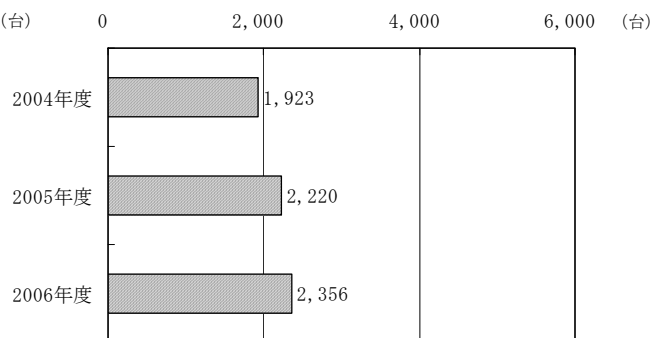
④スポーツ用品店※1



⑤AV・メディアソフト店※2  
(カメラ・パソコンショップを含む)

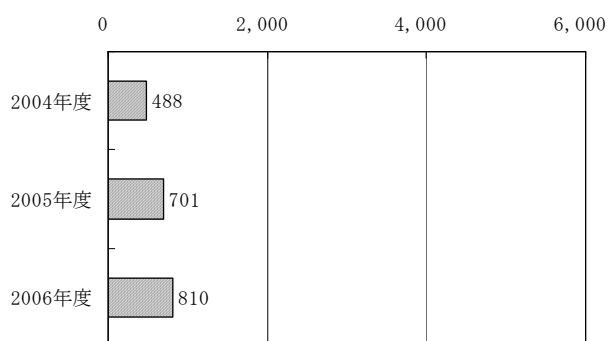


⑥家電量販店

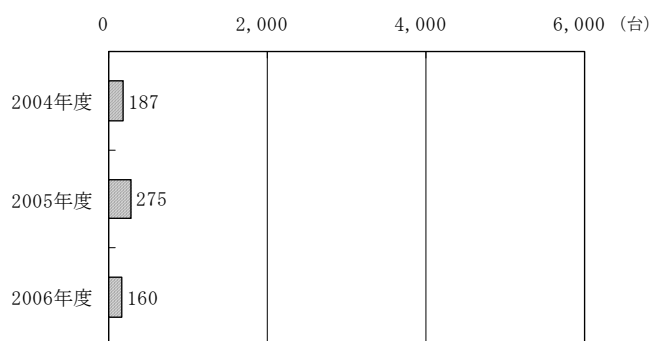




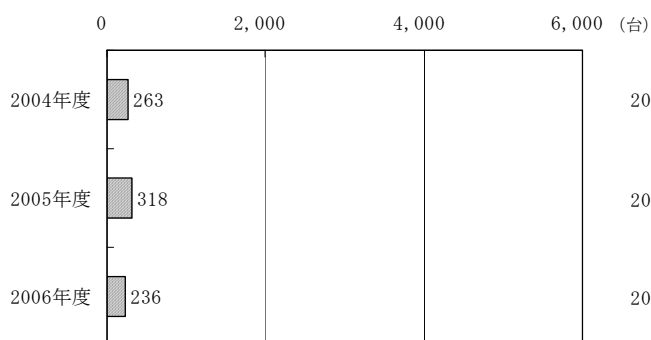
⑦まんが喫茶、ネットカフェ



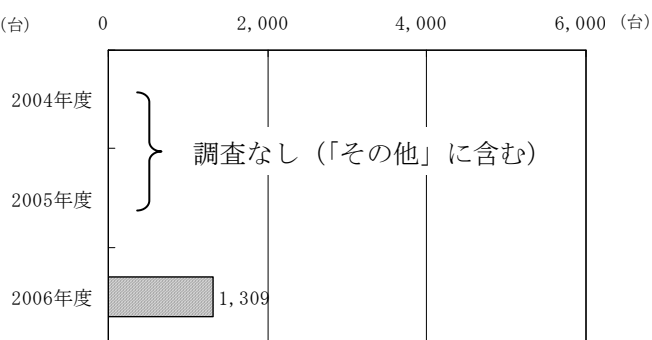
⑧カー用品店※1



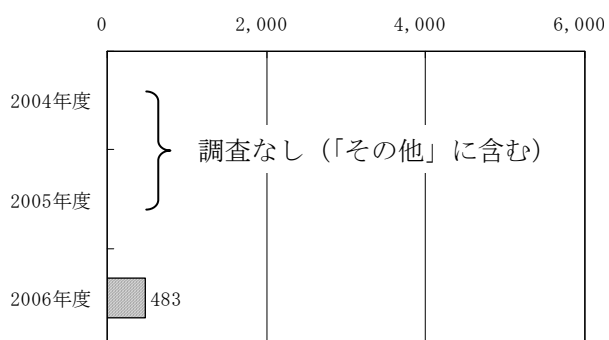
⑨図書館、資料室



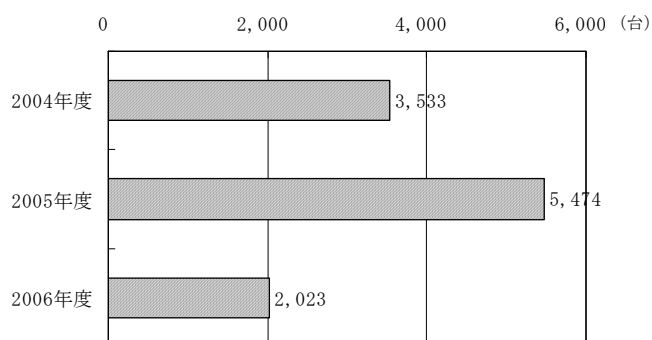
⑩総合スーパー※3



⑪書店※2※3



⑫その他※3



※1 「スポーツ用品店」「カー用品店」を「ホームセンター」に含めて回答した企業がある。

※2 2006年度で、「書店」を「AV・メディアソフト店」に含めて回答した企業がある。

※3 2004年度と2005年度の「その他」の数値には「総合スーパー」「書店」を含むが、2006年度の数値には含まない。ただし2006年度においても含めて回答した企業がある。

## (2) 店舗別割合

(図表3参照)

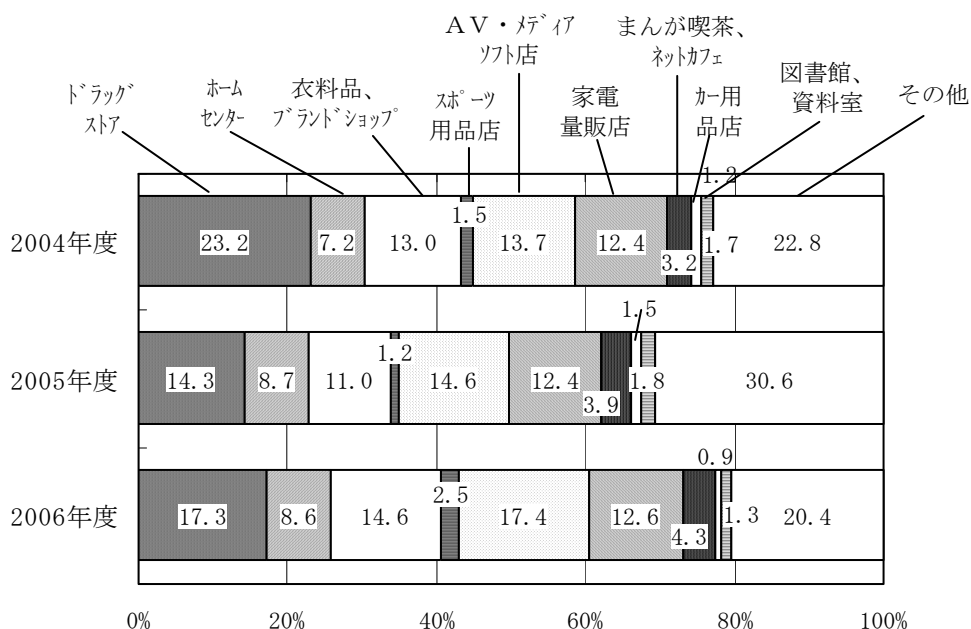
### <2006年度の状況>

- 「AV・メディアソフト店」(17.4%)、「ドラッグストア」(17.3%)、「衣料品、ブランドショップ」(14.6%)、「家電量販店」(12.6%)の割合が1割を超えており、これらで全体の約6割(61.9%)を占める。

### <2004年度からの推移>

- 「AV・メディアソフト店」、「ドラッグストア」、「衣料品、ブランドショップ」、「家電量販店」の割合が、前年と比べて高まっている。
- 「ドラッグストア」の割合は、2004年度から2005年度にかけて大きく低下したものの、2006年度は増加に転じている。
- 「家電量販店」、「ホームセンター」は設置台数が増加しているが、割合では横ばい傾向を示している。

図表3 EAS機器の設置台数(店舗別割合)



注：上図では、2006年度の「その他」に「総合スーパー」「書店」を含めており、また、その他の内容は、酒屋(3社)、コンビニ(2社)、一般企業(2社)などである。

### 3. E A S 機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合）

（図表 4 参照）

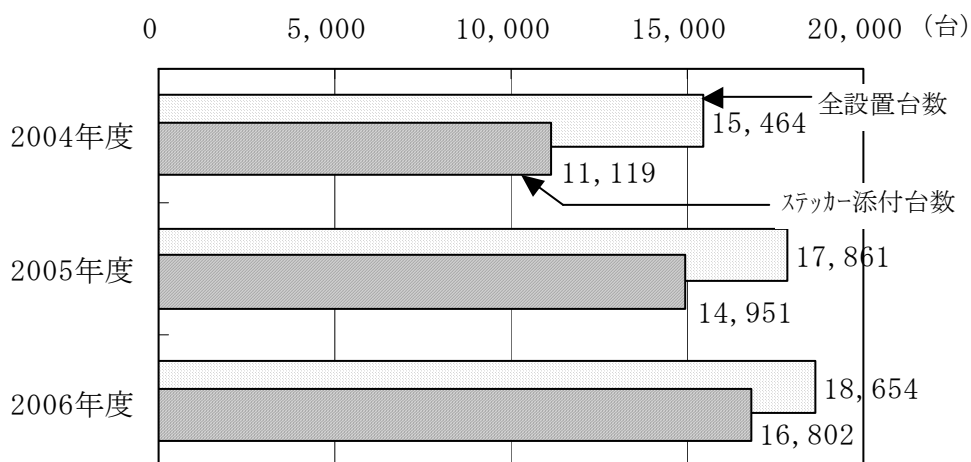
**<2006 年度の状況>**

- ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数は 16,802 台であり、全設置台数の約 9 割（90.1%）を占める。

**<2004 年度からの推移>**

- ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数は、11,119 台（2004 年度）→14,951 台（2005 年度）→16,802 台（2006 年度）と推移し、2006 年度は 2004 年度と比べて 5,683 台増加している。
- ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数の割合は、71.9%（2004 年度）→83.7%（2005 年度）→90.1%（2006 年度）と、着実に増加している。

図表 4 ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数とその割合



	2004 年度	2005 年度	2006 年度
ステッカー添付台数 (台)	11,119	14,951	16,802
全設置台数 (台)	15,464	17,861	18,654
ステッカー添付台数の 全設置台数に占める割合 (%)	71.9	83.7	90.1

#### 4. E A S 機器の設置台数（動作方式別設置台数とその割合）

##### （1）動作方式別設置台数

（図表 5 参照）

**<2006 年度の状況>**

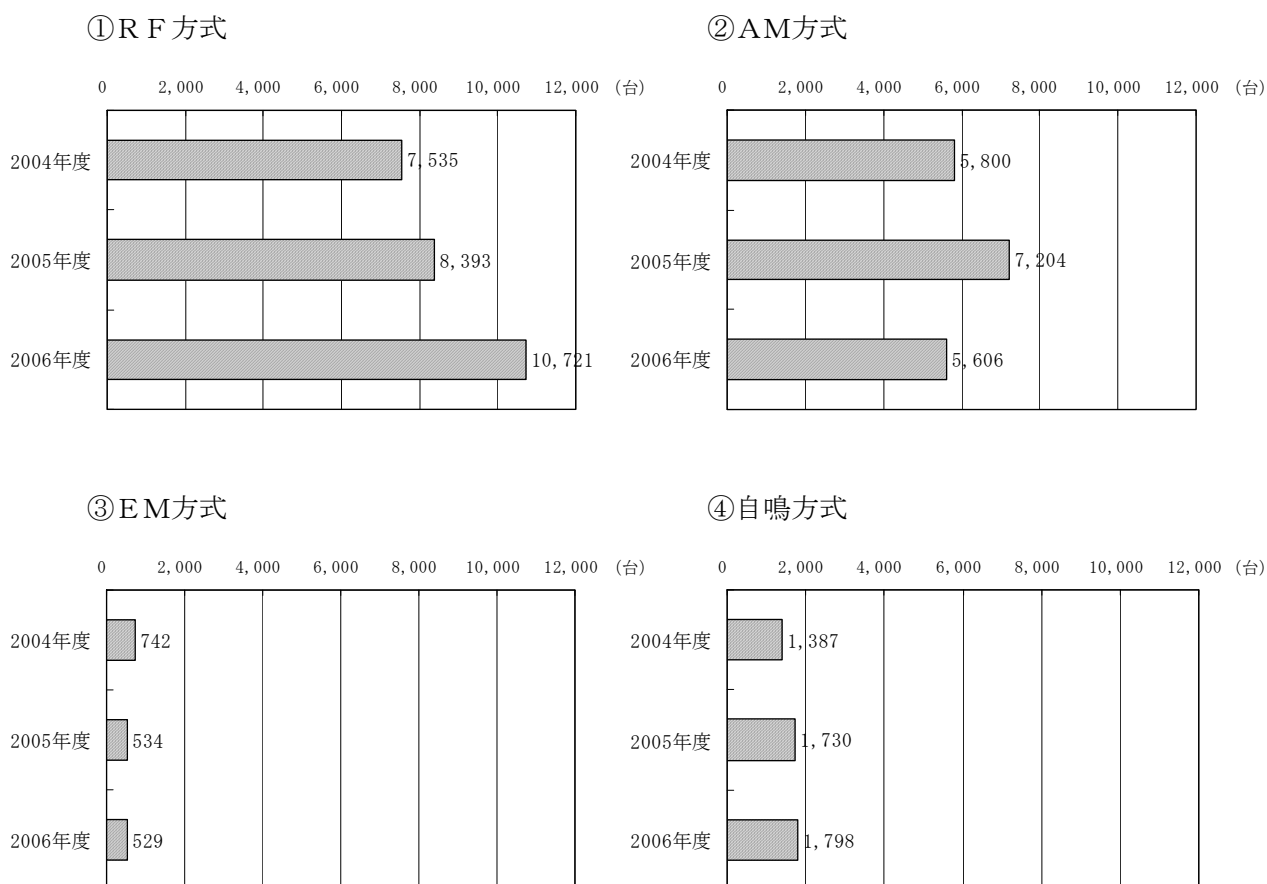
○ E A S 機器の設置台数を動作方式別にみると、最も多いのが「R F 方式」の 10,721 台であり、「A M 方式」の 5,606 台が次いでいる。「E M 方式」（529 台）、「自鳴方式」（1,798 台）は少ない。

**<2004 年度からの推移>**

○ 2005 年度から 2006 年度にかけて「R F 方式」が大きく伸びる一方、「A M 方式」は減少している。

○ 「E M 方式」は減少傾向、「自鳴方式」は増加傾向を示している。

図表 5 E A S 機器の設置台数（動作方式別設置台数）



## (2) 動作方式別割合

(図表 6 参照)

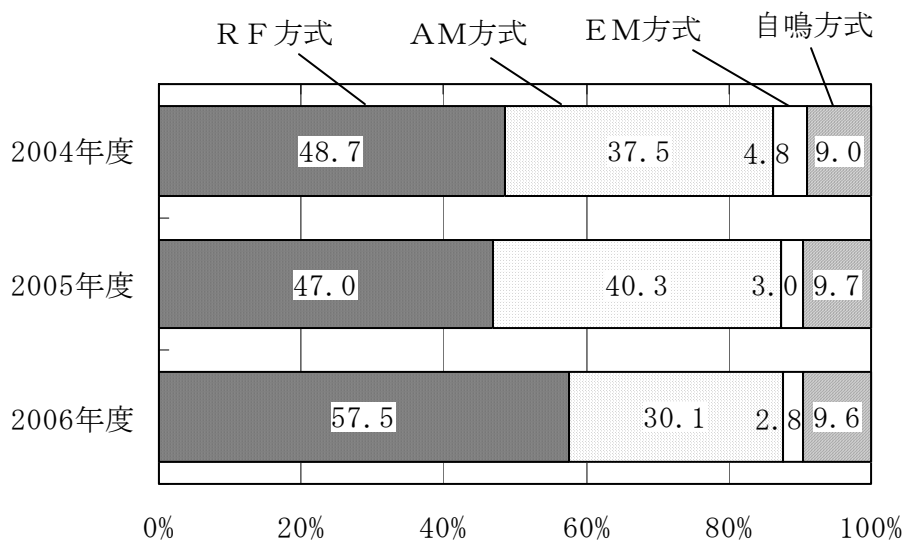
### <2006 年度の状況>

- 動作方式別にみた設置台数の割合をみると、「RF方式」が6割弱（57.5%）、「AM方式」が3割（30.1%）、「自鳴方式」が1割（9.6%）、「EM方式」が2.8%となっている。

### <2004 年度からの推移>

- 動作方式別にみた設置台数の構成は、2005 年度から 2006 年度にかけて変化がみられ、「RF方式」の割合が約 10 ポイント増加する一方、「AM方式」は約 10 ポイント減少している。
- 「自鳴方式」は横ばい、「EM方式」は減少傾向を示している。

図表 6 EAS機器の設置台数（動作方式別割合）



## 5. E A S タグの出荷数量

(図表 7 参照)

### <2006 年度の状況>

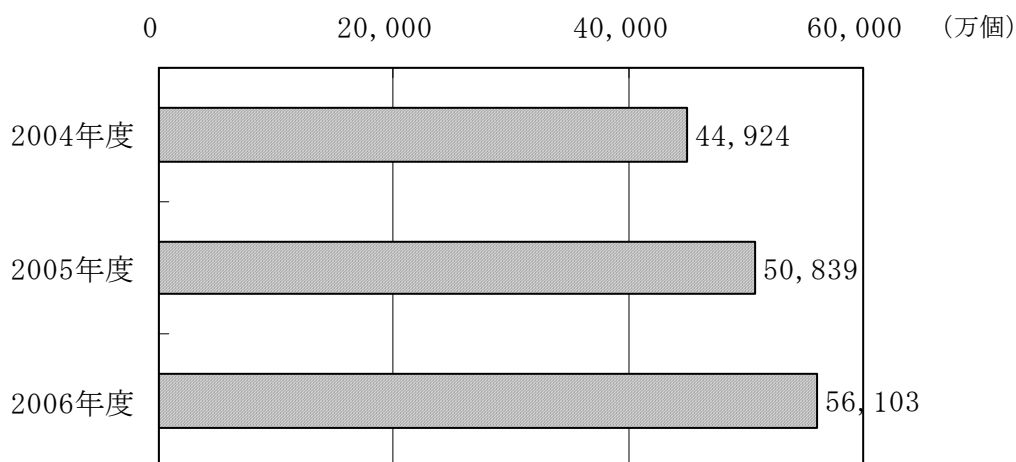
○ E A S タグの出荷数量は、2006 年度で 5 億 6,103 万個である。

### <2004 年度からの推移>

○ 出荷数量は、2005 年度、2006 年度ともに、毎年 5,000 万個超ずつの増加となっている。

○ 伸び率でみると、2005 年度は 13.2%、2006 年度は 10.4%の増加であり、毎年、1 割以上の増加が続いている。

図表 7 E A S タグの出荷数量



### < E A S タグの出荷数量及び伸び率 >

	2004 年度	2005 年度	2006 年度
出荷数量 (万個)	44,924	50,839	56,103
伸び率※ (%)	-	13.2	10.4

※伸び率 = (当年度出荷数量 ÷ 前年度出荷数量 - 1) × 100

## 6. EASタグの出荷数量（種類別出荷数量とその割合）

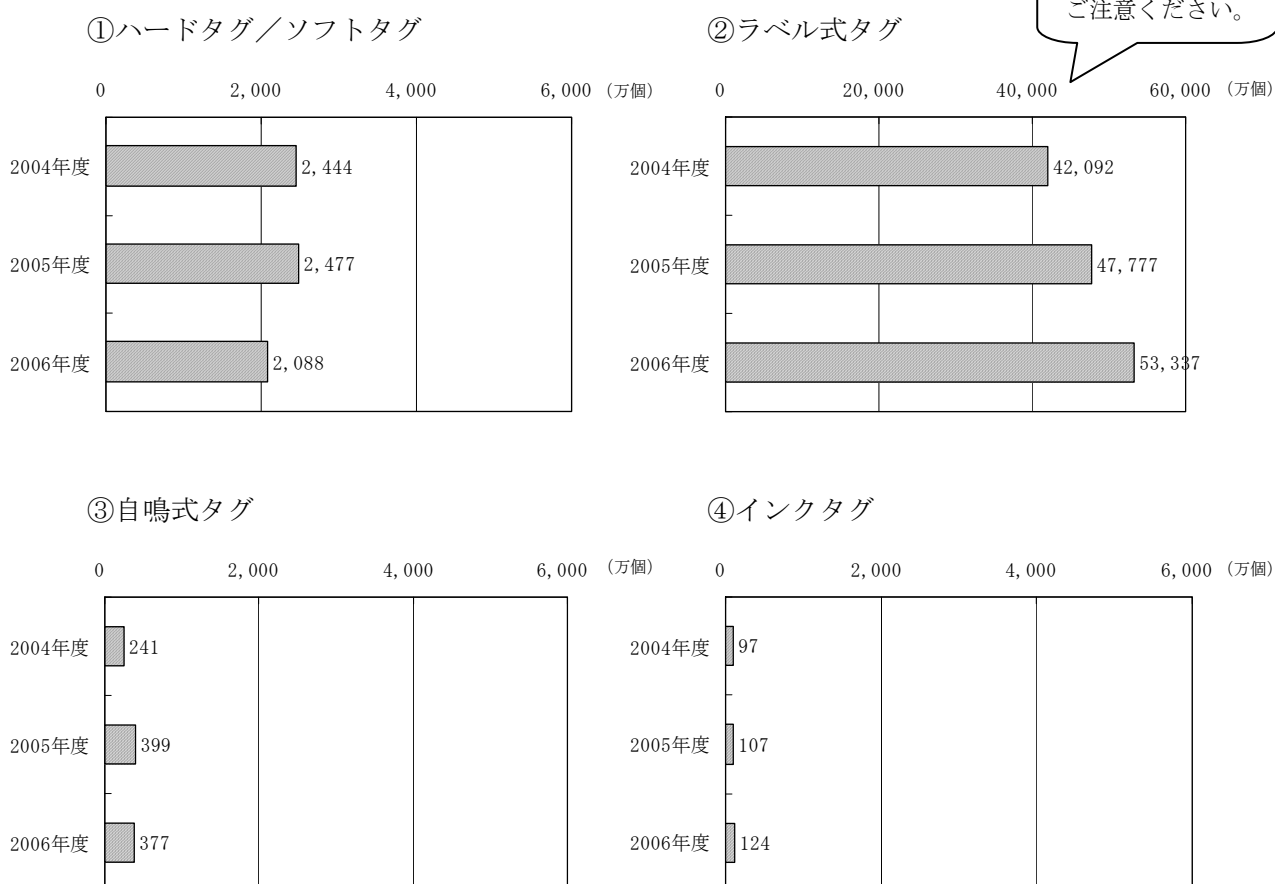
### （1）種類別出荷数量

（図表8参照）

**<2006年度の状況>**  
 ○ 種類別に出荷数量をみると、「ラベル式タグ」が5億3,337万個と、他を圧倒して多い。「ハードタグ/ソフトタグ」は2,088万個、「自鳴式タグ」は377万個、「インクタグ」は124万個である。

**<2004年度からの推移>**  
 ○ 「ラベル式タグ」が順調に増加している一方、「ハードタグ/ソフトタグ」は減少傾向を示している。「インクタグ」は増加傾向にあるが、「自鳴式タグ」は、2005年度から2006年度にかけて減少している。

図表8 EASタグの出荷数量（種類別出荷数量）



注：①～④以外に「その他」があるが、数が少ないのでここでは図を省略している。

## (2) 種類別割合

(図表9参照)

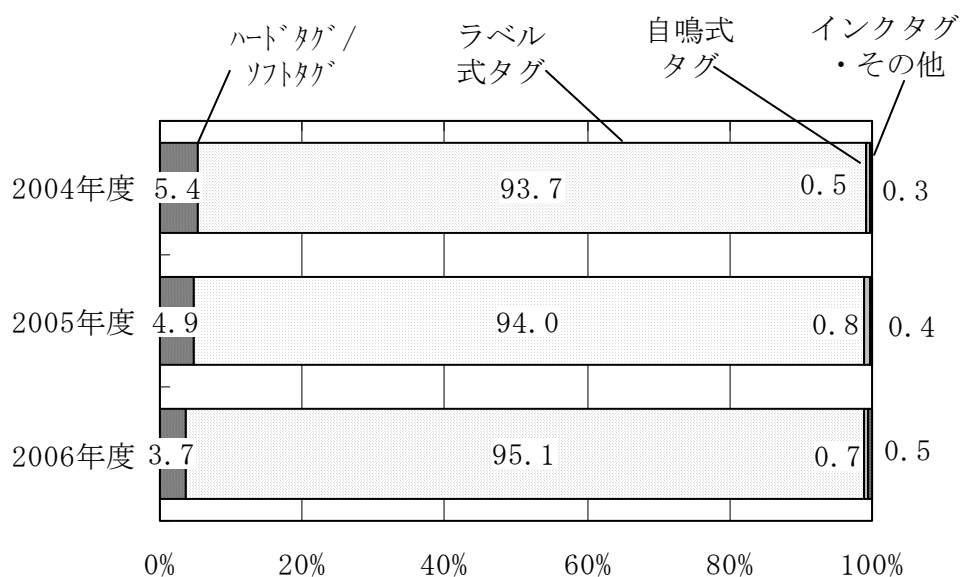
### <2006年度の状況>

- 出荷数量の割合をみると「ラベル式タグ」が95.1%であり、EASタグの大半を占めている。「ソフトタグ/ハードタグ」は3.7%、「自鳴式タグ」は0.7%、「インクタグ・その他」は0.5%を占めるにすぎない。

### <2004年度からの推移>

- EASタグの大半を占める「ラベル式タグ」の割合が増加している一方、「ハードタグ/ソフトタグ」は減少傾向となっている。

図表9 EASタグの出荷数量（種類別割合）





## 7. E A S 機器の出荷金額

(図表 10 参照)

### <2006 年度の状況>

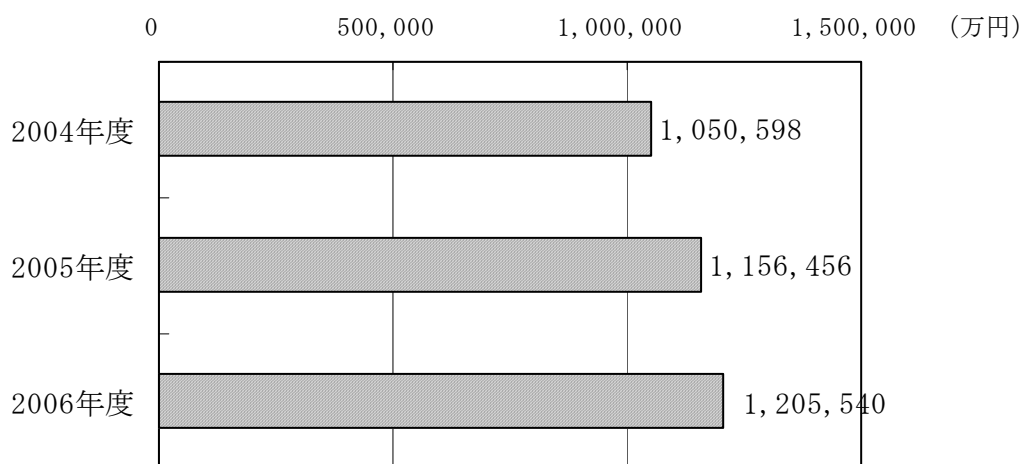
○ E A S 機器の出荷金額は、2006 年度で 120 億 5,540 万円である。

### <2004 年度からの推移>

○ 2004 年度は 105 億 598 万円、2005 年度は 115 億 6,456 万円であり、2006 年度は 2005 年度と比べて約 4 億 9,000 万円増加している。

○ 伸び率は、2005 年度が 10.1%、2006 年度が 4.2%であり、増加傾向が続いている。

図表 10 E A S 機器の出荷金額



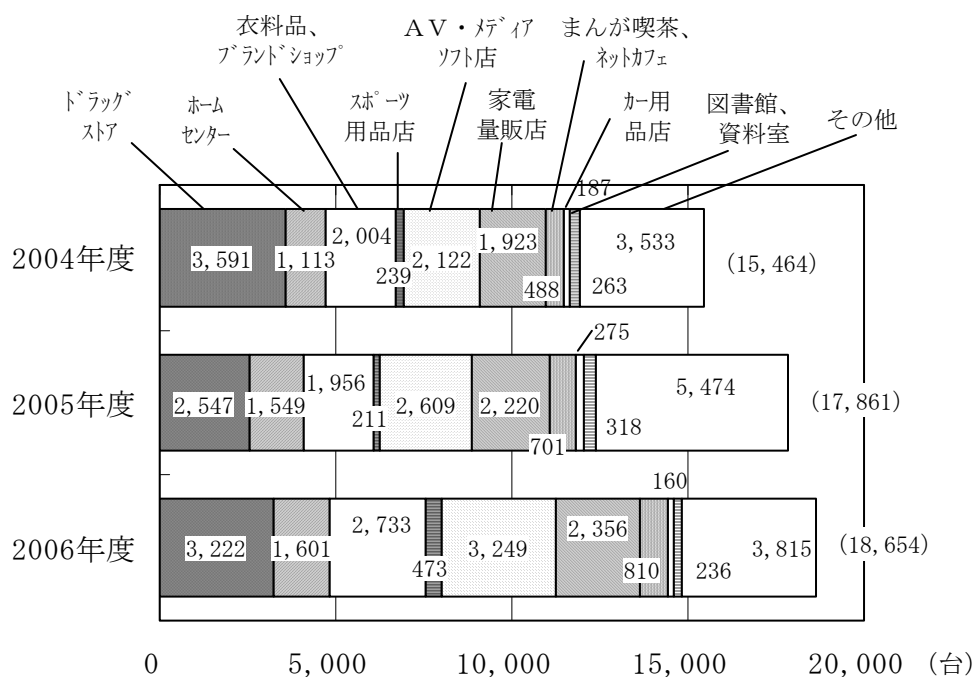
### < E A S 機器の出荷金額及び伸び率 >

	2004 年度	2005 年度	2006 年度
出荷金額 (万円)	1,050,598	1,156,456	1,205,540
伸び率※ (%)	-	10.1	4.2

※伸び率 = (当年度出荷金額 ÷ 前年度出荷金額 - 1) × 100

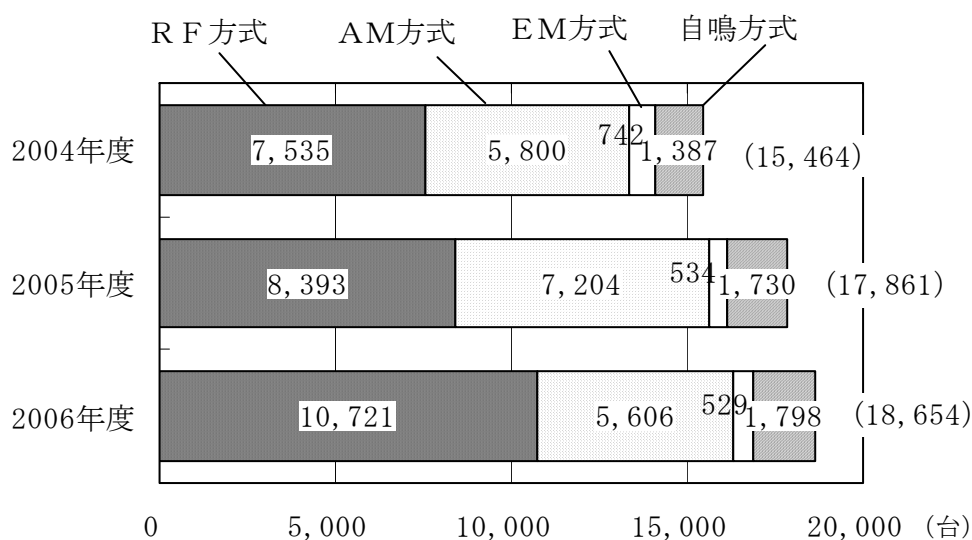
# [資 料]

参考図1 EAS機器の設置台数（全体・店舗別）



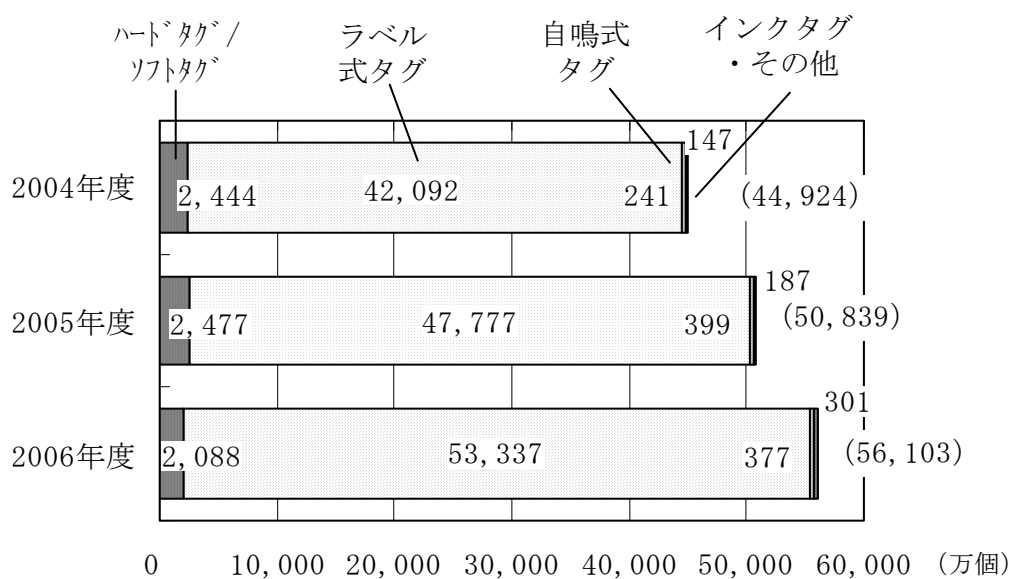
注：（ ）内の数値は全体の設置台数。

参考図2 EAS機器の設置台数（全体・動作方式別）



注：（ ）内の数値は全体の設置台数。

参考図3 EASタグの出荷数量（全体・種類別）



注：（ ）内の数値は全体の出荷数量。

---

---

# 平成18年度 EAS機器の市場規模に関するアンケート

---

---

平成19年7月

＜ご記入にあたって＞

○本アンケートでは、2006年度における貴社の状況についてお答えください。

**【昨年度の同アンケートにご回答して頂いた企業様】**

昨年度のアンケートのご回答を、2004年度、2005年度の数値として記入しています。ご回答の際の参考としてください。

**【昨年度の同アンケートにご回答されていない企業様】**

2004年度、2005年度についても併せてご回答を頂けると幸いです。

○ご回答のほとんどが数字をお尋ねするものです。指示にしたがって数字を記入してください。ご記入は黒のボールペンまたは鉛筆でお願い致します。

○記入済の調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

**平成19年8月1日(水)まで**にご投函ください。

○この調査票についてご不明の点がございましたら、下記担当者までお問い合わせください。

**【調査の主旨に関して】**

調査企画：日本EAS機器協議会  
電話番号：03-3355-2322  
担当者：小原 史郎

**【アンケートの記入方法に関して】**

調査機関：(社)日本リサーチ総合研究所  
電話番号：03-5216-7313  
担当者：桜井 昭

本アンケートでは、貴社で製造販売している「EAS（Electronic Article Surveillance：電子商品監視）機器」の設置台数、出荷金額等についてお伺いしています。

設置台数等のご記入にあたり、次の点にご留意をお願いします。

1. メーカーまたは（海外製品の）マスターディストリビューターのエンドユーザーへの設置台数をカウントしてください。
2. 天井式、マット式、ゲート式とも、ゲート（アンテナ）1機につき1台とカウントしてください。例えば、ゲート式の場合は設置箇所（出入り口）が1箇所でもゲートが2本の場合は2台、3本の場合は3台、4本の場合は4台とカウントします。

問1 貴社で製造販売しているEAS機器の設置台数についてお伺いします。

貴社では、2006年度において、EAS機器を何台設置しましたか。数字をご記入ください。

ご参考までに、昨年度のアンケートにご協力頂いた企業様には、2004年度、2005年度の数値を記入しています。なお、万一、数値に誤りがある場合には、誤った数値を二重線で消し、枠外の空白部分に正しい数値をお書き頂ければ幸いです。  
(問2以降の設問につきましても、同様の処理をお願い致します。)

	2004年度	2005年度	2006年度(※)
設置台数	<input type="text"/> 台	<input type="text"/> 台	<input type="text"/> 台

※2006年度の数値は、各社直近の決算数値を用いてください。  
例えば、3月決算の会社は2006年4月～2007年3月の数字  
12月決算の会社は2006年1月～12月の数字  
となります。

問2 問1でお答え頂いたEAS機器の設置台数を用いてお答えください。

(1) 2006年度について、問1でお答え頂いた設置台数を100として、①～⑩の設置店舗別におおよその割合を記入してください。

	2004年度	2005年度	2006年度
① ドラッグストア	%	%	%
② ホームセンター	%	%	%
③ 衣料品、 ブランドショップ	%	%	%
④ スポーツ用品店	%	%	%
⑤ AV・メディア ソフト店	%	%	%
⑥ 家電量販店 〔カメラ・パソコン ショップを含む〕	%	%	%
⑦ まんが喫茶、 ネットカフェ	%	%	%
⑧ カー用品店	%	%	%
⑨ 図書館、資料室	%	%	%
⑩ 総合スーパー	%	%	%
⑪ 書店	%	%	%
⑫ その他	%	%	%
合計	100%	100%	100%

①～⑫の合計が100%となります。

その他の内容をお書きください。(例) コンビニ、酒屋、宝飾店など

(2) 2006年度について、問1でお答え頂いた設置台数を100として、EAS機器設置表示ステッカーが付いている機器のおおよその割合を記入してください。(本設問については、集計データについても外部には公表しません。参考データとしての問です。)

	2004年度	2005年度	2006年度
ステッカー貼付台数	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %



問3 2006年度について、問1でお答え頂いた設置台数を100として、①～④の動作方式別におおよその割合を記入してください。

	2004年度	2005年度	2006年度
① RF方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
② AM方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
③ EM方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
④ 自鳴方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
合計	100%	100%	100%

**①～④の合計が100%となります。**



問4 【メーカーまたは（海外製品の）マスターディストリビューターの方のみお答えください。】

- (1) 2006年度における、貴社におけるEASタグの出荷数量をご記入ください。  
 (2) 2006年度について、(1)でお答え頂いたEASタグの出荷数量の種類別にみた内訳を、  
 ①～⑤の種類別にご記入ください。

	2004年度	2005年度	2006年度
(1) 出荷数量			
合計	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
(2) 種類別の出荷数量	(内訳)		
① ハードタグ/ ソフトタグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
② ラベル式タグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
③ 自鳴式タグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
④ インクタグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
⑤ その他	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個

**①～⑤の合計が、(1)出荷数量に等しくなるようにしてください。**

なお、昨年のアンケートでは、合計を100として内訳を%で尋ねました。  
 可能であれば、2004年度、2005年度の数値の訂正をお願いします。

問5 【メーカーまたは（海外製品の）マスターディストリビューターの方のみお答えください。】

2006年度の貴社のEAS機器の売上（出荷金額）をご記入ください。

※「EAS機器の売上（出荷金額）」は、カメラ関係を除くEAS本体、同工事費、  
 同保守費、タグの売上の合計金額としてください。

	2004年度	2005年度	2006年度
EAS 機器売上	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円

**単位を「万円」としておきますので、ご注意ください。**

問6 日本EAS機器協議会に対して、ご要望、ご意見があればお書きください。

--

.....

差し支えなければ、お名前と連絡先等のご記入をお願いいたします。（記入漏れなどがあった場合、内容の確認をさせて頂くためのものです。集計の対象にはいたしません。）

会社名		部署名	
お名前		電話番号	

~~~~ ご協力、どうもありがとうございました ~~~~